

事例6

< 事例概要 >

①80 歳代、大腸癌術後、2 型糖尿病、虚血性心疾患の既往あり、胃部不快感の訴えと水分摂取しかできない救急外来患者。

②原因検索目的の検査。

③腹部X線検査でニボー像があり、当直医師は生化学検査の結果確定前に、消化器内科医に電話で相談し、症状が乏しいことから翌日再診の方針とした。患者の帰宅後に生化学検査の結果が確定し、臨床検査技師は当直医師へ報告した。K 6.5 mmol/L の他、複数のパニック値があったため、当直医師は消化器内科医へ再度相談したが、翌日再診の指示に変更はなかった。

④翌日再診より約 3 時間後（パニック値検出より約16 時間後）に死亡。

⑤死因は、高カリウム血症に関連した不整脈。死亡時画像診断（Ai）無、解剖無。